

# 10 課題解決への参画

- ・地域や地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて検討する
- ・課題解決に向けた行動やはたらきかけについて考え、仲間と議論する
- ・課題解決策について整理し、仲間と共有する

取組事例

42

## R6 ジュニアフォレスター育成講座

～ 森林の価値を考えよう！ ～

三重県林業研究所 小学3～6年生



2日目の小さな机づくりで制作した机を抱えて記念撮影

実施時期	令和6年12月
実施場所	四日市市少年自然の家
時間	3日間
対象・人数	小学3～6年生 8人
講師	遊び心 岡野ころろ氏 国立曽爾青少年自然の家 菱川裕輝氏 自然観察指導員 山田翔大氏、小池智氏 Brook 坂丈哉氏 森のせんせい養成講座受講者7人 県林業普及指導員6人
備考	県主催講座

めざす姿	10 課題解決への参画（01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、04違いに気づく、06知識・技能を身に付ける、08地域の課題に目を向ける）
ねらい	森の価値を高めるために自分にできることを考え、仲間と議論する
内容	<p>【1日目】・身近な森林の姿や地域の林業活動、わたしたちの生活との関わり合いについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の観察を通じて、様々な植物や動物が関わり合いながら生きていることを知る</li> <li>・里山保全活動を通じて、里山整備に使う道具の使い方や里山整備の必要性を学ぶ</li> <li>・「元気な森はどんな森？」について考える</li> </ul> <p>【2日目】・セーザイゲームを通して、森林整備の大切さや、製材技術により木に付加価値を付けられることを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのくらす地域で、世代を超えて大切に育てられた木を使うことの意義を知り、そうやって育てられた木を使った木工体験（小さな机づくり）をする</li> <li>・「木を伐ることはいいこと？悪いこと？」について考える</li> </ul> <p>【3日目】・炊き出しの体験から、長年、木を燃料として活用してきた人の生活と森との関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気な森のために何ができる？」について考える</li> </ul>
学習指導要領との関連	<p>探究的な学習（小学生総合的な学習の時間）</p> <p>楽しむ（小学1～4年生道徳）、植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、植物の発芽・成長・結実（小学5年生理科）、森林資源のはたらき・森林を保全する仕事（林業）・森林と人々のくらし・木材需要と木材輸入・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）、食物連鎖（小学6年生理科）、資源の持続的な利活用・消費生活と環境（小学5～6年生技術・家庭）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、自然の偉大さ（小学5～6年生道徳）、自然体験（小学生総合的な学習の時間）、加工技術（中学校技術・家庭）</p>

取組の内容

クイズを通して三重の森林や木について学んでいる様子



知る

1日目

倒木の中で越冬する虫を観察している様子



体験する

森林整備活動で雑木を伐っている様子

体験する



元気な森はどんな森なのかを考えている様子

考える



2日目

セーザイゲームで木取りの体験をしている様子

体験する



木工体験で机の作り方を聞いている様子

体験する



「木を伐ることはいいこと？」について話し合ったことを発表している様子

考える



3日目

小刀を使って箸を作っている様子

体験する



マッチを使った焚き付けの体験をしている様子

体験する



「元気な森のために何ができる？」について話し合ったことを発表している様子

考える



おしまい

子どもの反応

- 暗い森がほとんどということ色々な人に行って、知ってもらいたい。
- 大きくなったらきこりになる。
- 里山保全活動に参加したい。
- 元気な森のために、森の感謝して木を使おうと思った。
- 元気な森のために、苗を1本植えたい。
- 元気な森のために木を伐りすぎないようにするし、切ったら植えるようにする。
- 森のためにゴミを捨てちゃいけないと思った。
- 元気な森は、動物が元気にいきている森。植物がよく育っている森。
- もっとこの講座やイベントに参加して、森のことを勉強して、他の人に教えられようになりたい。